

医療を通して地域社会に貢献

県立中央病院薬剤部

調剤指導班

薬剤師 K. H.

平成 27 年採用

衛生研究所を経て平成 29 年 4 月から
現所属



DMAT のメンバーと、研修会にて
(筆者・左端)



DMAT 実動訓練の様子

富山県唯一の県立総合病院

県立中央病院は、病床数は 733 床、富山県で唯一の
県立総合病院であり、基幹・中核病院として富山県の医療
向上に寄与すべく努めています。

県立中央病院薬剤部調剤指導班では、調剤業務を始め、
病棟薬剤指導業務や抗がん剤調製業務、TPN 調製
業務、院内製剤業務、医薬品情報業務、持参薬鑑定業
務など病院薬剤師として多岐にわたる業務を行っています。

仕事の魅力・やりがい

中央病院では調剤業務、病棟業務以外にもチーム医療と
して感染対策チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチームな
どがあります。その中でも私は災害医療を目的とした災害派
遣医療チーム（DMAT）に属しています。

DMAT とは、災害発生から 48 時間以内に活動できる専
門的な訓練を受けた医療チームのことで、医師・看護師・業
務調整員（薬剤師を含む）で構成されています。災害など
で派遣要請された際は、消防、警察、自衛隊、行政などと連
携をとりながら、医療活動や病院支援を行います。近年は災
害などが多発しており、県立中央病院からは、東日本大震
災や熊本地震、台風による豪雨災害などで実際に派遣され
ました。

災害時の医療は日々の医療とは異なり、物資も人員も限
られた中で医療を行う必要があります。そのように限られた中
でも医療活動ができるように、医師や看護師、放射線技師、
臨床工学技士などさまざまな職種の方と日々訓練していま
す。

ある 1 日のスケジュール

7:50	<出勤・執務開始> ▼ 泌尿器科カンファレンス参加
8:30	<抗がん剤調製業務> ▼ 外来・入院化学療法患者の 抗がん剤調製業務
10:30	<病棟業務> ▼ 担当病棟の内服薬・注射薬、 看護記録の確認。
12:00	昼食・休憩
13:00	<調剤業務> ▼ 入院・外来処方調剤業務
15:30	<病棟業務> ▼ 入院患者への服薬指導、内服薬セット 確認、指導記録記載
17:15	退庁 ▼

メッセージ

就職活動の際に、20 年後、30 年後の自分を想像して、
同じ仕事を続けられるのだろうか悩みました。そして行政職
から病院など様々な業務で、様々な職種の方と仕事をする
ほうが楽しいと思い、公務員薬剤師を選びました。

衛生研究所で検査・研究業務を経て、現在は病院に配
属になっています。業務は変わっても薬剤師として学んだこと
は変わりませんし、経験は次に生かされ続けます。

みなさんも一緒にいろいろなことにチャレンジしてみませんか？